

## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年2月3日

上場会社名 株式会社ミロク情報サービス 上場取引所 東  
 コード番号 9928 URL <http://www.mjs.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 是枝 周樹  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 経営管理本部長 (氏名) 寺澤 慶志 TEL 03 (5361) 6369  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	17,831	6.5	2,249	28.0	2,277	25.1	1,362	9.5
27年3月期第3四半期	16,740	4.8	1,758	15.1	1,820	16.5	1,243	37.5

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 1,354百万円 (138.6%) 27年3月期第3四半期 567百万円 (△46.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	42.80	40.82
27年3月期第3四半期	39.73	37.37

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	19,621	13,741	69.5	429.80
27年3月期	19,671	13,346	67.8	411.46

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 13,637百万円 27年3月期 13,329百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,600	5.4	3,000	18.8	3,000	16.0	1,810	3.0	57.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P.3. 「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	34,806,286株	27年3月期	34,806,286株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	3,075,903株	27年3月期	2,410,403株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	31,831,269株	27年3月期3Q	31,313,084株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、企業収益や雇用情勢が引き続き改善傾向にあり、個人消費も総じて底堅い動きで推移するなど、緩やかな回復基調が続きました。

ソフトウェア業界及び情報サービス業界においては、企業収益の改善や法制度改正対応の需要等を背景に、IT関連投資を含む設備投資の増加が期待されるなど、事業環境は改善傾向にあります。

このような経営環境の下、当社グループは第3次中期経営計画(平成26年度～平成28年度)の2年目を迎え、さらなる成長に向けた取り組みを行っております。本中期経営計画においては、「新しい価値創出へのチャレンジ」をテーマに、経営ビジョンとして「既存事業における競争力の強化を図るとともに、新たな事業機会を捉えて独自の価値を創出することにより、継続的かつ飛躍的な企業価値の向上を目指します」を掲げております。

当第3四半期連結累計期間においては、全国主要都市にて「経理業務を徹底的に効率化するセミナー」や「マイナンバー制度セミナー」をはじめ、多彩なセミナー・研修会を継続的に開催するなど、積極的な販売促進活動を展開しました。また、会計事務所及び中堅・中小企業に対して、財務・会計システムを中心とする主力製品の拡販に加え、昨年9月中旬よりマイナンバーの登録から保管・利用・廃棄まで、安全かつ適切な運用を支援する新製品『MJSマイナンバー』(オンプレミス版・クラウド版)の販売を開始し、併せて、同10月よりマイナンバーの収集・登録・保管・廃棄までの一連の業務を代行する『MJSマイナンバーBPO』のサービスを開始しました。

開発面では、既存製品の継続的な機能改良、機能拡張を行うとともに、マイナンバー制度に対応する新たな製品・サービスの開発を行いました。また、昨年12月にMiroku Webcash International株式会社及びクラウドインボイス株式会社を子会社化し、当社グループにおける製品・サービスの更なる機能拡充や次世代サービス創出のためのグループ開発体制の強化を進めております。

一方、新規事業の一つとして、中小企業における事業承継、事業再生の支援事業に取り組んでおります。当社の100%子会社である株式会社MJS M&Aパートナーズと連携し、全国の会計事務所の先生方のご協力の下、本事業を積極的に推進するための基盤構築を進めており、昨年12月末時点において600件超の会計事務所とパートナー契約を締結しております。

お客様に対して最適な経営システム及び高品質なサービスを提供し、顧客基盤の維持・拡大を図るとともに、新規事業による新たな収益基盤の確立を目指し、更なる利益創出、企業価値向上に努めております。

このような事業活動により、当第3四半期連結累計期間における業績は増収増益となりました。売上高は、178億31百万円(前年同期比6.5%増)、営業利益22億49百万円(前年同期比28.0%増)、経常利益22億77百万円(前年同期比25.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益13億62百万円(前年同期比9.5%増)となりました。

当連結会計年度の品目別の売上高は以下のとおりであります。

## (システム導入契約売上高)

ハードウェア売上高は、前年同期比5.9%増の22億7百万円、ソフトウェア売上高は、前年同期比3.0%増の68億56百万円となりました。ユースウェア売上高は、前年同期比9.2%増の21億23百万円となりました。

この結果、システム導入契約売上高の合計は、前年同期比4.7%増加し111億87百万円となりました。

※「システム導入契約売上高」は、システム導入契約時の売上高の合計として、ハードウェア、ソフトウェア、ユースウェア(システム導入支援サービス等)の売上高から構成されております。

## (サービス収入)

会計事務所向けの総合保守サービスであるTVS(トータル・バリューサービス)収入は、前年同期比2.1%増の13億89百万円となりました。ソフト使用料収入は、会計事務所の顧問先企業向けの低価格なソフト使用料収入が伸張し、前年同期比15.9%増の7億23百万円となりました。企業向けのソフトウェア運用支援サービス収入は、前年同期比8.4%増の26億33百万円となりました。ハードウェア・ネットワーク保守サービス収入は前年同期比6.6%増の8億97百万円、サプライ・オフィス用品は前年同期比20.0%増の5億28百万円となりました。

この結果、サービス収入の合計は、前年同期比8.3%増加し61億72百万円となりました。

※「サービス収入」は、主に継続的な役務の対価となる安定的な収入として、ソフト保守やHW・NW保守サービス、ソフト使用料収入、サプライ・オフィス用品等の売上高から構成されています。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は100億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億38百万円減少しました。これは主に受取手形及び売掛金が7億94百万円、商品が2億22百万円、仕掛品が1億円増加したこと及び現金及び預金が11億37百万円、有価証券が2億円減少したことによるものであります。

固定資産は95億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ89百万円増加しました。これは、投資その他の資産が2億41百万円増加したこと及び無形固定資産が1億6百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、196億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ49百万円減少しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は52億40百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億49百万円減少しました。これは主に買掛金が43百万円、短期借入金が2億55百万円増加したこと及び未払法人税等が2億80百万円、賞与引当金が2億76百万円減少したことによるものであります。

固定負債は6億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億95百万円減少しました。これは主に長期借入金1億73百万円、繰延税金負債が3百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、58億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億44百万円減少しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は137億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億94百万円増加しました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益13億62百万円、自己株式の増加5億44百万円及び剰余金の配当4億85百万円、その他有価証券評価差額金の減少9百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は69.5%（前連結会計年度末は67.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、平成27年5月12日の『平成27年3月期 決算短信』で公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更

クラウドインボイス(株)については、新たに株式を取得したことから、当第3四半期連結会計期間末より、連結の範囲に含めております。

Miroku Webcash International(株)については、株式を追加取得したことから、当第3四半期連結会計期間末より、持分法の適用範囲から除外し、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,809,480	4,672,054
受取手形及び売掛金	2,998,810	3,793,407
有価証券	200,710	—
商品	298,543	521,327
仕掛品	145,659	246,359
貯蔵品	34,956	35,209
その他	749,684	831,859
貸倒引当金	△6,635	△7,970
流動資産合計	10,231,210	10,092,246
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,728,197	2,728,197
その他(純額)	1,323,318	1,277,791
有形固定資産合計	4,051,515	4,005,988
無形固定資産		
のれん	—	30,364
ソフトウェア	1,069,768	880,388
ソフトウェア仮勘定	125,080	179,328
その他	17,038	14,991
無形固定資産合計	1,211,886	1,105,072
投資その他の資産		
投資有価証券	3,119,091	3,350,986
その他	1,061,524	1,072,554
貸倒引当金	△3,725	△5,035
投資その他の資産合計	4,176,891	4,418,504
固定資産合計	9,440,293	9,529,566
資産合計	19,671,504	19,621,812
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	662,197	705,285
短期借入金	650,000	905,000
1年内返済予定の長期借入金	522,400	296,900
未払法人税等	651,382	370,987
賞与引当金	455,051	179,043
返品調整引当金	72,759	127,739
その他	2,475,857	2,655,639
流動負債合計	5,489,648	5,240,594
固定負債		
長期借入金	298,000	125,000
退職給付に係る負債	20,670	19,513
資産除去債務	18,124	18,436
その他	498,375	476,843
固定負債合計	835,169	639,794
負債合計	6,324,817	5,880,389

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,198,380	3,198,380
資本剰余金	3,013,389	3,013,389
利益剰余金	6,765,171	7,626,018
自己株式	△679,223	△1,223,864
株主資本合計	12,297,717	12,613,923
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,035,588	1,025,904
繰延ヘッジ損益	△3,766	△1,957
その他の包括利益累計額合計	1,031,821	1,023,946
新株予約権	17,147	14,098
非支配株主持分	—	89,455
純資産合計	13,346,686	13,741,423
負債純資産合計	19,671,504	19,621,812

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	16,740,100	17,831,418
売上原価	6,014,592	6,194,274
売上総利益	10,725,507	11,637,143
返品調整引当金戻入額	64,313	72,759
返品調整引当金繰入額	128,847	127,739
差引売上総利益	10,660,973	11,582,164
販売費及び一般管理費	8,902,699	9,332,323
営業利益	1,758,274	2,249,840
営業外収益		
受取利息	3,668	6,221
受取配当金	17,902	16,490
保険配当金	17,660	16,922
持分法による投資利益	2,215	—
その他	39,328	12,374
営業外収益合計	80,775	52,008
営業外費用		
支払利息	15,926	10,485
持分法による投資損失	—	7,908
その他	2,976	5,840
営業外費用合計	18,903	24,234
経常利益	1,820,146	2,277,614
特別利益		
投資有価証券売却益	225,988	—
段階取得に係る差益	—	8,483
その他	294	190
特別利益合計	226,283	8,673
特別損失		
固定資産除却損	1,061	1,846
減損損失	72	2,541
投資有価証券評価損	—	58,114
特別損失合計	1,133	62,501
税金等調整前四半期純利益	2,045,296	2,223,786
法人税等	801,363	861,401
四半期純利益	1,243,932	1,362,385
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,243,932	1,362,385

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	1,243,932	1,362,385
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△678,780	△9,683
繰延ヘッジ損益	2,461	1,808
その他の包括利益合計	△676,319	△7,874
四半期包括利益	567,613	1,354,511
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	567,613	1,354,511
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年5月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式816,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期累計期間において自己株式が600,576千円増加し、当第3四半期会計期間末において自己株式が1,223,864千円となっております。